

令和5年度自然保護委員会第1回事業報告

青谷道から行者尾根を経て摩耶山に至る山道でコバノミツバツツジを観察

1. 日時 令和5年4月23日(日) 9時～16時
2. コース 阪急王子公園駅東口北側～青谷道～行者小屋跡～行者尾根～天狗道～掬星台～黒岩尾根～市ヶ原～布引～新神戸駅
3. 参加者 9名(スタッフ3名、環境省アクティブレンジャー1名を含む)
4. 内容 快晴という絶好の登山びよりの中、多くの登山者で賑わう阪急王子公園駅に集合し、青谷川沿いに北上し青谷道登山口に着く。

地元の登山者(お年寄りからお子様まで年齢層が広いのがうれしい)の中を茶畑を経て左手の水場で休憩する。(10時5分)

藤崎先生から現在地確認方法の講義を受けた後に左からの元摩耶道と合流し、行者堂前の広場に着く。

ここまでは、登山者が多いが沢手前を左折する登山者はおらず、静かな山行になった。

行者小屋跡を北上し行場と天狗道への分岐を右折して急登が始まる。

少し行くと直進する老婆谷と行者尾根との分岐に出会い左折してから本格的な尾根登りとなる。

時折左側の行場からの行者の声明を聞きながら岩場に取りつく。

この辺りからコバノミツバツツジを見つけるが、南面で気温が高いためか既に盛りを過ぎている感じであった。

岩場の途中の石を積み上げたケルン付近の広場で東方向を望むと、緑に囲まれた史跡公園付近の尾根が見えた。

行者尾根に入る登山者は少なく遭遇したのは後ろから来たお一人だけであったが、再度の岩場の急登後に天狗道と合流する。(11時)

天狗道を右折し地蔵谷との鞍部を登り返して、TV塔経由で掬星台にたどり着き昼食休憩とする。(11時40分～12時30分)

休日のため登山者が多いが、岳連加入のヒヨコ登山会のメンバーや高体連登山部(神戸高校)ともお会いできたのは良かった。

昼食後に集合写真を撮影し、北側に進み黒岩尾根前の広場で環境省の中村アクティブレンジャーから国立公園内での植物採取規制等についての講習を受けたがここでも岳連加入の神戸市役所山岳部のメンバーともお会いしたので、環境省の講習資料をお渡しした。

摩耶山頂から北西方向に伸びる黒岩尾根にはいると南面より気温が低いいためか満開のコバノミツバツツジや散り残った藪椿を見る事ができた。

この尾根は長いため登山者は比較的少ないが、今日は好天の休日のためGW前のトレーニングと思われる団体や家族連れで賑わっていた。

急な登下降で疲れた足を引きずりながらトエンティックロスと合流し左折して、地蔵谷出合・天狗道分岐を経由して市ヶ原に出るが、この辺りから登山者というか観光客を含む外国の方が多くなり神戸らしさを感じた。(15時)

新神戸駅北東の生田川上流の見事な藤の花を、今回の山行の最後に眺める事ができて良かった。

最後になりましたが、今回の長く歩きにくい山行にご参加頂いた皆様に感謝して筆をおかせていただきます。(文責 日野 幸次郎)

